

ひじ 議会だより

2012

No. 88

題字は日出中3年 いとう ゆりあ 伊藤有莉亜 さんです

平成24年 4月 26日 (年4回発行)

発行: 大分県日出町議会

電話: 73-3135



心も満開 新入学(日出小学校)

目次

3 月 定 例 会

- 平成24年度予算審議..... 2
予算委員会
- 総議案45件、承認2件、同意1件、発委2件..... 4
総務委員会・産業建設委員会・社会厚生委員会
議会改革調査特別委員会・予算委員会・全員協議会
- 6人が登壇、町政全般を質す..... 7
一般質問
- 平成24年度議会構成決まる..... 13
議長挨拶
- 町民の声..... 14



議員が編集した
手づくり議会だよりです

議会などの審議の記録は町のホームページでもご覧いただけます。

3月定例会

3月定例会は、3月5日から23日まで19日間の会期で開かれました。

初日の本会議では、町長から施政方針を含む議案に対する提案理由の説明が行われ、24年度一般会計をはじめとする予算関連議案と条例改正などで45議案、承認2件、同意1件、発委2件を慎重に審議しました。

- 一般会計
 - 介護保険特別会計
 - 後期高齢者医療特別会計
 - 介護保険条例の一部改正
- の4議案は、14対1の賛成多数で可決。その他の議案は全会一致で可決しています。
- 一般質問は6人が登壇し、町政についてそれぞれ当局の所信を質しました。

また、最終日には、正副議長の辞職にともない選挙が行われ、新たに佐野故雄議長、安部三郎副議長が就任しています。各常任委員会も正副委員長が交代し、24年度、新体制で町政の諸課題に取り組んでいきます。

総予算 163億2560万円を可決

一般会計 94億6600万円

特別会計 68億5960万円

24年度 予算審議 新規事業

- 地域福祉計画策定事業
- 豊岡放課後児童クラブ整備事業
- 日出中学校校舎耐震補強事業
- 部活動活性化推進事業
- 地域「協育力」向上事業
- 住宅用太陽光発電システム設置補助事業

- 公園施設長寿命化計画策定費
- 日出町出会い応援事業
- 新規就農者支援事業
- 次世代を担う園芸産地整備事業
- ハモ販路拡大推進事業
- 町勢要覧作成費

町債(借入金) 11億5,000万円 12.2%)

土木債	2億4,840万円
教育債(小中学校増改築耐震補強事業)	4億490万円
臨時財政対策債	4億5,000万円

その他(依存財源)
1億6,750万円 1.8%)

基金繰入金
5億5,248万円 5.8%)

財政調整基金繰入金	3億5,868万円
減債基金繰入金	1億5,000万円

その他(自主財源)
5億1,030万円 5.3%)

町税
27億5,800万円 29.2%)

個人町民税	10億5,690万円
法人町民税	2億1,850万円
固定資産税	12億1,700万円
軽自動車税	6,220万円
たばこ税	1億8,000万円
入湯税	2,300万円

県支出金
7億403万円 7.4%)

社会福祉費負担金	2億5,348万円
児童福祉費負担金	1億8,584万円

一般会計
当初予算
歳入
目的別内訳と
主な項目
()は構成比

地方消費税交付金
2億5,000万円
(2.6%)

国庫支出金
11億360万円 11.7%)

障害者介護給付費等国庫補助金	1億8,665万円
児童・子ども手当国庫負担金	3億4,294万円
土木費国庫補助金	1億2,915万円
小中学校増改築耐震補強事業	
国庫補助金	1億1,570万円

地方交付税
22億7,000万円 24.0%)

普通交付税	21億6,000万円
特別交付税	1億1,000万円

未来を担う
子どもたちの夢と希望

地域の中で
高齢者の生きがい

を育む
環境づくり

24年度予算額

会計区分	一般会計	特別会計	国民健康保険	簡易水道	公共下水道事業	漁・農集落排水事業	介護保険	後期高齢者医療
予算額	94億 6600万円	68億 5963万円	31億 4043万円	1143万円	9億 8970万円	7487万円	23億 6348万円	2億 7972万円
前年度比	6.2%増	7.3%増	6.2%増	8.2%増	14.9%増	4.9%減	7.5%増	10.5%増

一般会計予算 94億6600万円の内訳

公債費 借入金24年度返済分)
9億9,366万円 10.5%)

平成23年度末の公債費残高は見込み額で
93億4,015万円

議会費

1億5,005万円 1.6%)

議員報酬 6,151万円
職員人件費 7,553万円
補助費物件費 1,301万円

教育費

14億3,070万円 15.1%)

小学校費 5億3,865万円
(うち豊岡小学校建設 4億1,373万円)
中学校費 2億5,140万円
(うち中学校耐震工事 1億8,983万円)
幼稚園費 1億4,215万円
社会教育費 9,118万円
保健体育費 1億5,189万円
教育委員会費、事務局費 1億1,524万円

災害復旧費予備費
362万円 0.0%)

総務費

11億1,335万円 11.8%)

人件費 7億8,314万円
普通建設費 3,440万円
物件費 1億9,811万円
補助費等 9,670万円

一般会計 当初予算 歳出

目的別内訳と
主な項目
()は構成比

民生費

29億6,812万円 31.4%)

児童手当・子ども手当など扶助費 5億1,579万円
児童運営費(保育園児就園補助) 6億4,625万円
障がい者支援など 5億2,761万円
国民健康保険へ繰出し 1億3,806万円
介護保険へ繰出し 3億1,603万円
後期高齢者医療負担金 2億9,073万円
補助費等 3億7,529万円
物件費・貸付金等 1億1,151万円
人件費 2億2,781万円

消防費

5億2,063万円 5.5%)

杵築速見消防組合負担金 4億2,007万円
消防団員報酬 838万円
防災行政無線整備工事費 3,088万円
人件費 2,691万円

土木費

10億4,117万円 11.0%)

道路新設改良費 3億6,979万円
道路舗装改良費 1,700万円
公園管理委託料 1,450万円
公共下水道繰出し 2億6,991万円
町営住宅管理 2,355万円
人件費 1億4,342万円

商工費・農林水産業費

4億4,190万円 4.7%)

商工会、観光協会助成金 1,000万円
かれい祭り行事負担金 700万円
シルバー人材センター補助金 641万円
農林畜産業振興費 6,742万円
農業土木工事請負費 1,440万円
水産業振興費 1,480万円
浄化センター繰出し 4,586万円
地籍調査費 4,537万円
人件費 1億9,251万円

衛生費 7億7,280万円 8.1%)

予防接種 がん検診等 9,912万円
母子保健費 1億1,423万円
ごみ収集運搬手数料 7,878万円
合併処理浄化槽設置整備補助 636万円
秋草葬祭場 藤ヶ谷清掃センター等負担金 1億9,337万円
杵築速見環境浄化センター負担金 9,202万円
人件費 1億3,098万円

常任委員会

総務

議案の審査結果

〈職員給与のわたりの廃止〉

職員の給与に関する
条例の一部改正

時間外勤務手当での支給割合と給与制度の見直しに伴う給料表を変更し
わたりを廃止します。また、職員および特別職の給料の減額を1年間延長

するものです。

協働指針策定委員会の
制定

住民、地域コミュニティ

団体などの関係団体が連携し、共同のまちづくりを実現するための指針を作成するために委員会を設置するものです。

閉会中の審査

1月26日開催

防災対策事務調査

【防災行政無線整備】

今年度中に13機が設置され、29年度までに、沿岸部を中心に全41機の拡声器を設置します。

【避難施設備品整備】

大規模災害時避難施設に災害救助用の毛布などの備品を整備、また小中学校には防災倉庫を整備し、避難施設の拠点として利用できるよう、3月末までに備品購入を行いました。

産業建設

〈有害鳥獣対策の現地視察〉

藤原中山地区並びに豊岡法花寺地区

獣害進入防止柵設置箇所の、囲いの面積や材料費などの詳細な説明を受け、集落などを獣柵で囲むことが効果的であることを確認しました。

今年度は、4箇所申請が出ている内の一箇所

を実施予定です。(場所は、未定)

〈所管事務調査〉

農地の利用計画

生前贈与を受けた部分で荒れた土地が多いので農地調査後は、その所有者に通知を出して、返事をもらう手続きをします。遊休農地は、町と農業委員会、農協で対策協議会を立ち上げその活用写真を作り対外的にアピールすべきと意見しました。



中山地区の獣柵

日出6号雨水幹線工事

(町道堀南浜線陥没事故現場現在の水路に沿って北側に、推進工事で1・65mの鋼管を入れて7月20日までに完了予定です。

閉会中の審査

1月27日開催

〈都市計画街路と日出駅周辺の交通体系の現地視察〉

須崎新田線・友田竹光線の建設予定地

都市計画街路は幅員が



各小中学校に配置された防災倉庫

常任委員会

16mとなつていますが、道路の規模などの現実性、建設費用などを見直し、県のマスタープラン的な全体計画の中に提言し町の都市計画審議会に諮りながらやっていきます。

豊岡地区は道路事情も悪いので少しでも早く供給できるように、また友田竹光線は、泉北大神線に接続するよう要望しました。今年度は、長野線・山田線間の測量を実施予定です。

日出駅周辺の交通体系

駅周辺の交通体系は、庁内各課と協議をした経緯があり、交差点の変更・改良などは、案を作成して別府土木事務所、JRと協議を進めていきます。地元から陳情書を出すことも検討しました。

社会厚生

議案の審査結果

介護保険条例の一部改正

介護認定者（サービスを利用する人）の増加や各介護サービス施設の増設・増床しています。また高齢者の負担割合が20%から21%と増加、介護現場で働く人の報酬が1・2%引き上げられました。このようなことから、保険料は月額5774円で前回より千円以上の大幅な値上げとなり、県内でも高い方から3番目となりました。

住民基本台帳法の一部改正に伴う条例の整備

国の法律が今年7月に改正され、外国人登録が廃止されることになり、滞在期間が3カ月を超える外国人は住民基本台帳に登録されます。

使用料条例の一部改正

かねてより近隣自治体と比較して公共施設の使用料が高いのではと指摘がありました。今回その一部を値下げします。

- ・町営体育館1時間500円↓半面1時間250円
- ・柔剣道場1時間400円↓200円
- ・学校体育館1時間500円↓250円

閉会中の審査

2月16日開催

家庭訪問型子育て支援事業（ホームスタート事業）

委員から利用者がいるのか、社会福祉協議会に委託して対応できるのかなどの意見がだされました。十分対応できると考えますが、研修を行い相談員を育成、将来的にはNPO組織に育てたいという事です。

豊岡小学校の工期延長

予定より5カ月遅れの12月完成予定です。理由は土留めや基礎工事の遅れによるもので、費用などの増加は無いとのこと。また、6月までにプールの一部に低学年用を造ります。25年度以降に場所を変更し、1億円ほどの予算で改修予定です。

部活動活性化推進事業

年間登録料（全額）、各種大会参加料（上限5万円）は予算の範囲内で補助。部活動の送迎については保護者が対応しているが、事故が発生した場合どう対処するのか、何らかの方策を講じるよう強く要望しました。



豊岡小学校校舎新築工事状況

重要課題を 現地調査

議会改革

議会改革調査特別委員会

白杵市議会を視察

2月14日

白杵市議会を視察し、議会活性化の取り組みや議会機能の強化について研修しました。議員自らが勉強会や討論会を開催し、積極的に政策提案できる体制は、大いに参考にすべきところでした。

今後も、議員アンケートと新たに提案された改革項目を検討していきます。特に常任委員会の2委員会制、議会と住民との討論会の開催、議員の勉強会の開催について精査をします。



白杵市での研修

「回天」大神基地

予算委員会

基地整備費
84万円の適否

3月8日

生涯学習課から大神回天基地の整備費84万円が提案されました。回天基地跡の整備事業は、これまで社会厚生委員会でも全く説明がなく、事業の全体像が不明瞭なことから、委員会では資料の再提出を要求、現地に赴き、基地整備費の適否と提示された今後の事業計画を審議しました。



大神基地跡視察

今回の予算措置は、回天基地跡を調査・整備し、太平洋戦争の史実を残す歴史資料として後世に守り伝えていくこと、町の近代史の主たる史跡として明確に位置づけたいということでした。

また、基本方針を作成し、歴史・文化財価値を損なわない整備計画と活用の方を協議していきます。委員会では、今後、予算規模も含めて事業展開を十分審査していきます。

県外土搬入問題

全員協議会

県廃棄物対策課に
厳しく指摘

3月15日

参加者

大分県廃棄物対策課

参事・課長補佐・主査

大分県議会議員

三浦 正臣

日出町議会全議員

日出港に荷上げされ大神牧の内地区に搬入されている県外土砂が無造作

に盛土され、地域住民に

不安が広がっている。砂塵による健康被害や日常生活に悪影響をおよぼす懸念があること、土の出身や成分にも不審な点があるため、県の廃棄物対策課に現地立会いを要請しました。立会いでは、県の対応や指導力不足を強く指摘しました。県外土砂搬入問題は、条例改正も含め今後も全議員で取り組んでいきます。



県職員を追求（牧の内）

一般質問

Q&A ここが知りたい

問 水源保護条例の改正
真剣な取り組みを



熊谷 健作 議員
(豊岡地区)

答 検討事項を
詰めていきます

問 6月議会の質問後、改正を検討しましたか。

上下水道課長

検討していますが、規制する施設を全て明記し、禁止することは困難です。対象区域の拡大は裏付けとなる根拠が必要です。

問 条例を強化することは判例でも違法とされています。

ません。規制対象施設の定義を明確にし、取水制限を入れ、罰則も重くするべきでは。議会も弁護士などと勉強会をする予定です。

町長

法律を条例が上回ることでできないのが通説ですが、検討事項を詰めていきます。勉強会にはぜひ参加します。

自由通路
広く相談を

問

陽谷駅自由通路の実設計に向けて、どのような団体にどういった手順で相談を行っていきま

か。

都市建設課長

利用者側の視点から設計に反映できるよう、社会福祉協議会、母親クラブ、太陽の家など広く意見・提言を求めています。

問

障がい者の方からは一



自由通路建設予定の陽谷駅

駅に多額の費用をかけるより、安価なリフトなどで4駅全てのバリアフリー化を求める声があります。

都市建設課長

都市再生事業の補助金で行うため、陽谷駅を優先します。

防犯対策の再考を

問

重大事件が続発してい

問

各種委員会・審議会の委員は充て職だけで構成するのでなく、一般から公募で、特に若年層から参加してもらい、多様な意見を取り入れる時代と考えますが、どう思われますか。

その場合、開催曜日、時間、日当は配慮が必要だと思われませんが。

政策推進課長

第二次行財政改革の中で「積極的な公募委員の推進と選考」を掲げ、女性の登用も含め、町民より公募することに取り組んでいます。

また、選出された委員が出席できる開催曜日、時間帯にしていかなければと考えています。

•その他「テキサス撤退問題」「町職員採用について」についての質問がありました。

委員会委員の公募

政策推進課長

- ①防犯ブザーの点検整備と活用指導
- ②子ども連絡所の増設
- ③地域見守り隊への呼びかけ
- ④学校から保護者への帰宅時間の周知徹底

一般質問

Q&A ここが知りたい

南端小中学校の
今後は

小規模特認校
制度を継続します



工藤 健次 議員
(大神地区)

問

答

問

学校の現状と今後の考
えは。

教育長

現在小学校、計5名
中学校、計14名在籍し
ています。21年8月から
小規模特認校制度を導入
し、町内の全校区から転
入学を可能にして、これ
まで述べ17名が転入しま
した。



小規模特認校の南端小中学校

現在3名の児童が南端

地区の里親宅から通学を
しており、教育委員会と
しては、小規模特認校制
度を継続しながら特色あ
る教育を実施します。

指摘事項の検証

問

過去の一般質問の、検
討事項を4件検証します。

各担当課長

1、福祉バス

23年4月に日出町生活
交通確保維持協議会を設
立、以後、7回開催し日
出町生活交通ネットワー
ク計画を策定しました。

(本年10月からコミュニ
ティバスの試行運転を実
施予定)

2、職員の給与体系の改

正

23年度に入り、給与制

町長の三選出馬

問

三選出馬について、町

長の考えは。

町長

町政は多くの課題を抱
えており、許されれば引
き続き次期町政に挑戦を
させていただきたいです。

黒岩いこいの森公園

問

黒岩いこいの森公園の
管理と活用は。

財政課長

普通財産の原野(68
52㎡)として財産管理
をしています。

町長

忠魂碑があり、遺族会
などとも協議しながら方
策を探ります。

質問を終えて

検討事項は、2カ月
以内に結果報告を。

一般質問

Q&A ここが知りたい

問 女性の視点を
生かした防災対策を



池田 淳子 議員
(藤原地区)

答 防災計画の中に
織り込みます

問 昨年の東日本大震災において、避難所でトイレが男女別になっていない、女性の着替えるスペースや授乳スペースがないという実態があり、女性の視点の大切さが浮き彫りになりました。町では防災会議に女性が登用されていますか。

総務課長

これまででは女性が入っていません。しかし、東日本大震災のときに避難所生活を余儀なくされた方々の声の中に、避難所での集団生活の負担が女性に集中する傾向があることや、生活者の視点に立ったニーズが把握できないような女性の意見を積極的に聞くことなどの必要性が訴えられています。県の地域防災計画の見直しにおいても女性の視点からの避難所運営の項目が追加されていますし、今見直し中の町の防災計画の中にも項目を織り込んでいます。

避難所運営ゲームを導入しては

問

避難所運営を模擬体験できるHUGというゲームを導入しては。

総務課長

ボランティアのリーダー、

防災士、各地区の自主防災組織の方々が避難所をとりまとめることが想定されます。こうした方たちに体験していただくことが最も有効ではないかと考えていますので、前向きに検討させていただきます。

ジェネリック医薬品の利用推進を

問

医療費が年々増加をし、それに伴い国民健康保険税が増額することになれば、患者さん自身の負担も増えることとなります。医療費抑制のため、医療機関や薬局に協力してもらい、ジェネリック医薬品の推進をしては。

健康増進課長

厚生労働省は、ジェネ

HUGとは…
H II 避難所
U II 運営
G II ゲーム

リック医薬品の利用は医療費の抑制対策として有効だとし、町も利用促進に力を入れているところです。昨年12月にジェネリック医薬品を利用した場合との差額通知を出したところです。

問

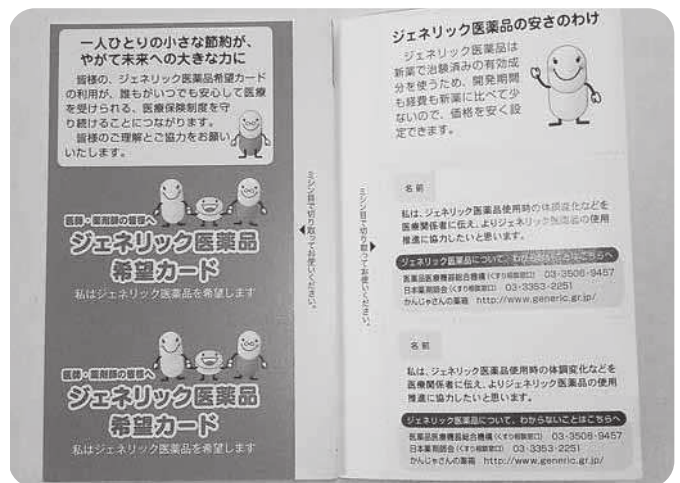
『ジェネリック医薬品希望カード』はどのような方法で配布されていますか。

健康増進課長

希望カードの配布は、窓口での配布に加え、22年度・23年度の保険証の発送時に同封して国民健康保険の加入全世帯に配布しています。

質問を終えて

女性の地域力を大いに活用すべき。



希望カードの積極的活用を

一般質問

Q&A ここが知りたい

無策では人口減少

問



森 昭人 議員
(日出地区)

第3の方策を進めます

答

問 町の人口を増加させた辻間団地、日出団地は収束し、ここ数年人口増を牽引してきた内野地区、仁王地区も現状では飽和状態になることが予想されます。近年の町の人口動態をどのように捉えていますか。

政策推進課長

国勢調査の人口で比較



人口増をけん引した辻間・日出団地

すると、平成12年からの5年間毎の増加数は、	平成7年～12年	1709人増
	平成12年～17年	1498人増
	平成17年～22年	581人増

となっており、人口の増加が鈍化しています。自然動態、社会動態も同じことが言えます。

問

今後、無策では人口3万人どころか、人口減少

に転じる可能性が大了。町は、昭和40年代の団地造成に始まり、区画整理や民間開発の促進と、5年から10年スパンで大型事業を展開してきましたが、定住人口増のため、今、思い切った施策の計画実行が必要と考えます。

町長

私もその点を気づかっており、どうすべきか庁内で相当議論もし、具体的に対策も出して、第3

の開発計画を進めている途中にあると認識しています。当面は学校の耐震補強工事を先行していきますが、着実に、人口増加を視野に入れた基盤整備、教育や福祉の充実を進めているということですね。進捗が目に見えない面もあるかも知れませんが、ご理解いただき頑張らせていただきたいと思います。

大規模防災訓練の実施

問

東日本大震災では、職員、消防団員がその責務が故に多く命を絶たれました。現在見直されている「日出防災計画」では津波に対する、適切な避難誘導のための具体的な行動計画が検討されていますか。また、町独自で大規模な防災訓練を実施する必要があると考えますか。

総務課長

具体的な防災計画書は、総則、災害予防計画、災害応急計画、災害復旧計画の4部構成とし、別冊で津波災害対策を加えます。町の自然的、社会的条件を十分に勘案して、地域の実情に即したものにしたいと考えています。防災訓練は、平成17年に県や自衛隊、NTTなどと合同で大分県総合防災訓練を実施した経緯があります。こういったことも参考にして、町単位か別府湾単位かで実施に向け検討していきたいと考えています。

質問を終えて

「まず逃げる」ために微細な計画と訓練が必要。

一般質問

Q&A ここが知りたい



問 県外土砂
受け入れ中止を

答 非常に難しい
問題です

佐藤 隆信 議員
(大神地区)

問 大神地区に県外からの土砂が多く搬入され、地区の人たちは大変困っていて、何とかしてほしいと声をあげています。そこで町の対策をお聞きます。PCBなどの土砂の検査を行っていますか。

生活環境課長 提出された安全基準、適合証明書ではPCBを含め27項目について環境

基準値以内にあります。県の検査も同様です。土壌検査は随時していきたいと思っています。

問 土砂発元がはっきりしていません。県から土砂埋立ての事業計画、設計書、工程表をもらっていますか。

生活環境課長 県への申請なので、事業計画などをもらうことはありませんが、以前に事業計画の一部を請求し、発元部分は把握しています。はっきりとした公文書で添付書類すべて請求したいと思います。

問 柏川地区に土砂搬入計画があると聞いています。農地に県外土を入れさせないようには。

生活環境課長 非常に難しい問題だと思いますが、地域にとって大変な問題なので実態調査を行っていきます。

工藤町長の町づくり

問

町長は1期4年間は財政再建に多く貢献をしましたが、2期目から少しずつおごりがでて、ほころびが出てきたと思っております。そこで町長の今後のまちづくりをお聞きます。

町長 第4次総合計画の農業の生産高、売上高、品目、ブランド化、後継者など、年ごとの具体的な目標は、

24年度以降に積極的に取り組み、新しい事業も展開していきたいと思

問

中小企業の活性化対策は、壮青年の雇用対策を考えていますか。

町長 地域産業を初めとする商工会、工業部会、また関係機関と連携しながら活性化に取り組みます。また、雇用については、公共職業安定所と連携し、相談業務の拡大に務めながら、緊急雇用失業事業を引き続き行っていきます。

問

子育て支援で待機児童をなくす、2年幼稚園の実施、中学校卒業までの医療費の無料化を。

町長 重大な課題として内部検討し、先進地に追いつくように努力していきます。

問

伊方の原子力発電の稼働には賛成ですか、反対ですか。町も自然エネルギーを進めるように。

町長 可能であれば原発を廃止して、自然エネルギーに変えることが良いのですが、私から賛成反対ということは言えません。自然エネルギー開発は精一杯努力します。

•その他「職員提言に対する町長の対応」「地域協議会設置」についての質問がありました。



地産地消の拠点（ふれあいの里）

一般質問

Q&A ここが知りたい

問 藤原地区の
開発計画は



藤井 博幸 議員
(日出地区)

答 都市計画
白地区域です

問 藤原地区の国道10号線と空港道路の間には農地、特に、警察署や福祉センター裏、山手に開発の余地があるので。大規模な土地開発の時代は終わつたかもしれませんが将来的にどのような考えを持っていますか。

都市建設課長

都市計画区域の白地区



どう活用するか（藤原地区）

区であり、現在開発の予定はありません。しかし国道10号が4車線になれば、インターチェンジもあり、泉北大神線の改良が終わっているため、非常に重要な地域との位置づけはしています。ただし、農業振興地域であり農業振興との調整が図られています。今後、調和のとれた地域開発に向け、

地元関係者の方々と協議を進めていきます。

都市計画街路の優先順位

問

第4次日出町総合計画では街路の未着工路線の見直しをすると明記していますが、最優先街路と予算は。

都市建設課長

2路線あります。友田竹光線は第一期計画の日出駅裏から国道213号までの580mで約8億円。須崎新田線は未改良区間の520mで公園用地との関連もあり約3億円となります。

問

友田竹光線が優先と言うことですが、堀竹光線も日出駅の活性化につながるのでは。

都市建設課長

都市計画街路という高規格の道路でなく整備仕法、通常生活道路に必要な最低限ではどうか検討を行います。

問

町道寺町線の宮町工区（約200m、総事業費2億3千万円）は堀竹光線と同じく役場方面への道路です。信号もなく渋滞するのでは。

都市建設課長

大神・川崎地域から中心市街地へのアクセス道

路として計画しています。蓮華寺からの道路拡幅の現実性が乏しいので、歩行者の安全と車の利便性を確保するため、また10号線への車の分散を図ることが必要であり、地権者の方々にご理解を求め積極的に進めていきます。

老朽施設の建て替え

問

公共施設（中央公民館や町営体育館）の建て替え計画はありますか。

生涯学習課長

築後30数年を経過し老朽化してきたので体育館は一昨年大改修をし、公民館も補修などを行いました。当分の間補修、改修で対応します。

質問を終えて

目指せ人口3万人の町

議会構成決まる

3月定例会最終日に2年任期の申し合わせによる正副議長選挙が行われ、議長に佐野故雄議員、副議長に安部三郎議員を選出しました。



佐野 故雄 議長



安部 三郎 副議長

就任のごあいさつ

町民の皆様には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

私たちは本年第一回定例会におきまして、議長並びに副議長に就任することとなり大役を仰せつかり身に余る光栄に存じます。責任の重大さを痛感し、議会運営に努め町政発展を目指し、素晴らしいまちづくりに誠心誠意努力をしてまいりたいと思っております。

さて、町政におきましては第四次日出町総合計画後期計画を策定し、「人と自然が調和したふれあいと活

力のあるまち」づくりを進めているところであります。特に、東日本大震災を受けて防災対策には町民の皆さんと一緒に取り組んでまいりたいと思っております。また、議員自ら改革を行い開かれた議会、住民の皆さまから信頼される議会となるよう努力をしてまいれる所存であります。

今後とも、議会活動になお一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます、就任のごあいさついたします。

新委員を紹介します

任期 平成24年4月7日～25年4月6日

社会厚生常任委員会

住民登録、保健、福祉、清掃
公害対策、学校教育、社会教育などの調査

委員長	工藤 健次
副委員長	佐藤 隆信
委員	笠置 久夫 森昭 久夫 安部 三郎

産業建設常任委員会

観光、商工業、農業、漁業、
道路、都市計画、河川、住宅、
上下水道などの調査

委員長	池田 淳子
副委員長	田原 忠一
委員	城原 美津夫 佐藤 二朗 佐野 故雄

総務常任委員会

行政、消防、選挙、財政、企
画、広報、町税 監査などの
調査

委員長	佐藤 克幸
副委員長	熊谷 健作
委員	白熊 昭義 後藤 水昭 藤井 博幸 白熊 昭義

予算常任委員会

委員長	佐藤 二郎
副委員長	後藤 藤二
委員	12名で構成

議会運営委員会

本会議、委員会などを円滑に
運営するため、議長の諮問機
関として設置されています

委員長	笠置 久夫
副委員長	佐藤 克幸
委員	池田 淳子 工藤 健次 佐藤 二朗 安部 三郎

町民の声

取材を通して

感じたこと

藤原南郊区

利光雅子



「地域密着で笑顔あふれる紙面に」を掲げた「ふれあいプレス日出新聞」の取材活動に携わり5年半。今年の3月に、新聞は休刊になりました。皆様のご愛顧に心から感謝申し上げます。

取材でさまざまな公民館活動を支える地区の皆様に出会いました。印象に残った教室は、町と地区が共同で認知症や転倒を予防する「脳リフレッシュ教室」と「ハッピー教室」でした。

ストレッチやゲーム・料理など楽しい企画満載の教室は、1年後、自主教室となっても活動を続けられる地区がほとんど。自主教室では、旅行やウォーキングなども増えて地区住民の健康と親交をより深めている気がしました。

企画運営をされる地域の皆様のご苦労は

大きいと思いますが、ぜひいろんな地区で

教室が広がっていくと良いと思います。

町内には、健康に留意した料理や体操・

ウォーキングを指導するボランティア団体

が多く、健康をテーマに横のつながりが深

まれば町民の生活習慣病予防や再発を防ぐ

ための意見交換ができるのではとも感じま

した。

最後に、私が所属するボランティアグルー

プ「在宅保健師等虹の会」は、今年も城下

かれています。5月12日（土）

の午前9時半から14時まで日出町商工会館

2階で「ふれあい健康相談」を開催します。

血管年齢や内臓脂肪・骨密度測定、栄養相

談、健康相談などを行っていますのでお気

軽にお越しくください。

議会の今後の予定

5月 30日 議長・副議長研修会（東京）

1日 議会運営委員会

8日 定例会初日

議会運営委員会

11日 定例会 議案質疑・一般質問

12日 定例会（一般質問）

13日～14日 常任委員会（予算）

15日 常任委員会（所管）

18日 常任委員会（所管）

19日 常任委員会（予算）

議会改革調査特別委員会

20日 議会報特別委員会

議会運営委員会

22日 定例会最終日

議会の傍聴してみませんか

今、町ではどんなことが議論されているのだろうか。また、どんな計画があつて、どう進んでいるのだろうか。あなたの身近なこともかもしれません。簡単な手続きで、だれでも傍聴ができますので、是非おいでください。

編集後記

東日本大震災から1年が経過しましたが、未だげれき処理、除染が思うように進まず、被災地の復興には相当な時間を要します。報道では首長の対応やコメント、被災地の住民の皆さんの生活がクローズアップされがちですが、議会人として気になるのは知る由もない被災地の議会・議員の動きです。「避けようのない天災」にみまわれたその時、町民の皆さんの生命と財産を守るため、私たちは「いたい何ができるのか」と考えます。今後、議会の当然の責任として議員全員でより深い議論が必要と考えます。

（森 昭人）

編集委員長 森 昭人
副委員長 池田 淳子
委員 熊谷 健作
委員 田原 忠一
委員 工藤 健次
委員 藤井 博幸